

## はじめに

かつて我が国のエネルギー拠点として、日本の近代化や戦後復興を支えてきた三池炭鉱は、石炭から石油へのエネルギー政策の転換等により、平成9年3月に閉山しました。

閉山から16年が経過し、三池炭鉱に対する人々の記憶が、時代とともに風化されていくことが懸念されています。

このため、本市では、三池炭鉱で働いていた人々の生活や文化、先人達の偉業や苦難の歴史等も含め、形あるものとして後世へ残していくことが重要と考え、炭鉱労働、社宅での生活など楽しかった思い出、つらかった思い出などを集めたエピソード集を作成することとしました。

今回のエピソード集は、第1部が三池炭鉱に関する思い出にご応募いただきました原稿を掲載しております「投稿編」、第2部がかつて炭鉱で働いていた方や炭鉱社宅に住んでいた方などへ当時の思い出などをインタビューした「聞き取り編」、第3部が以前実施した「こえの博物館」事業でのインタビューの一部を掲載した「こえの博物館編」の3部構成となっています。

三池炭鉱のあった時代の証言等が、総勢18名の方々により、生き生きとつづられていますので、ぜひ多くの方々に読んでいただきたいと思えます。

最後に、投稿、聞き取り、こえの博物館事業インタビューの一部掲載にに応じていただきました皆様をはじめ、編集等作業に携わっていただきました「NPO法人 大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ」の皆様にご心から御礼を申し上げますとともに、このエピソード集が三池炭鉱の記憶を語り継ぐ一助となることを期待いたします。

平成25年3月  
大牟田市長 古賀道雄